

伝わっていくもの

昨年一年間、このセミナー通信では前年度の卒塾生の頑張った様子を順次紹介させていただきました。人数がちょうど12人だったということもあり、12ヶ月を使って全員を紹介することが可能だったのです。それができたのは、全員が一人の例外もなく頑張ったという事実があったから。作り話は一切なく、3年間見てきた私の目に映った、そのありのままの姿を書かせていただきました。その子の頑張ったこと、あるいは人となりを表すのにB5の用紙一枚では足りず、あふれんばかりのエピソードの中から厳選して掲載し、あとは泣く泣くカットするという状態でしたが、それでもうれしいことに読んでいただいた方はたくさんいらっしゃったようでした。面談の際に「セミナー通信楽しみにしています。」という有り難いお言葉をいただいたり、また、教室で配布した途端に子どもたちが読み始めるという状況を目の当たりにしたりもして、事実というもの、とりわけ身近な人間のエピソードが持っている力の大きさを改めて感じさせていただきました。これが“どこかの立派な誰かの話”というのであれば、こんなに子どもたちの興味を引くことはなかったと思うのです。

こんなことを言っていた塾生がいました。「先生、塾の先輩方がすばらしすぎて、自分も後に続けたいと思うのですが、なかなかできなくてもどかしいです。でも、あきらめずに頑張ります。いつかはそこまで行きたいです。」と。また、あるお母さんはこうおっしゃっていました。「先輩たちの頑張りを見習って、本人も一生懸命頑張りました。すると、その頑張りを一年間学校で見ていて下さった先生がいらっしゃって、その教科のテストの点数は今一歩でしたが、先生から『一年間頑張ってくれて本当にありがとう。これからも応援しているよ』という趣旨の、とても温かいメッセージをいただくことができました。ありがとうございます。先生のブログやセミナー通信を通じて先輩たちの頑張りが伝わり、本人の励みになっています。」と。

当塾は開塾してわずか20数年です。伝統と呼べるようなものはありません。ですが、脈々と塾生に伝わっていくものが確かにあると思っています。それは、自分のできることに全力で取り組むこと、最後まで決してあきらめないこと、明日を信じて自ら立ち上がること、そんな生きる姿勢です。これからも塾生の頑張った様子はどんどんこのセミナー通信や日記でお伝えしていこうと思っています。2019年度の卒塾生は13人で、毎月一人ずつ紹介するという訳にはいきませんが、出来るときに複数人のエピソードをまとめさせていただくつもりです。

現塾生諸君、先輩たちの姿勢を胸に留め自分の明日を歩きましょう。次はあなたの番ですよ。